

問1 1549年にフランシスコ・ザビエルが鹿児島に上陸して日本に伝えたキリスト教について、その宗派と布教を担った組織の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2017年 徳島公立入試 類似）

1. カトリック－イエズス会 2. カトリック－十字軍 3. プロテスタント－イエズス会 4. プロテスタント－清教徒（ピューリタン）

問2 戦国大名が領国内の統制を図るために定めた「分国法」の性質について説明したものとして、正しいものはどれですか。（2024年 東京都公立入試 類似）

1. 大名が自分の領国内にのみ適用した独自の法律であり、地域の実情に応じた内容であった。 2. 日本で最初の本格的な法律であり、天皇を中心とした律令国家の仕組みを定めたものであった。 3. 源頼朝が全国の守護や地頭に対して、公家との紛争を公平に裁くために制定したものであった。 4. 豊臣秀吉が全国を統一した後、農民から武器を取り上げるために発令したものであった。

問3 1549年に鹿児島へ上陸し、日本に初めてキリスト教を伝えた宣教師について、彼の所属組織と人物名の組み合わせとして正しいものはどれか。なお、この人物は後に山口などでも布教を行い、胸の前で手を合わせる姿を描いた肖像画のモデルとしても広く知られている。（2020年 埼玉県公立入試 類似）

1. イエズス会－フランシスコ・ザビエル 2. イエズス会－ルイス・フロイス 3. フランシスコ会－フランシスコ・ザビエル 4. フランシスコ会－ヴァリニャーノ

問4 15世紀末、ポルトガルの航海者がアフリカ大陸南端の喜望峰を回ってインドに到達したことで、ヨーロッパからアジアへの直接的な海上ルートが確立されました。この人物が切り開いた「インド航路」について述べたものとして、最も適切なものを答えなさい。（2017年 高知公立入試 類似）

1. バスコ・ダ・ガマが、香辛料などの交易を目的として到達した。 2. クリストファー・コロンブスが、西回りでアジアを目指す途中に到達した。 3. フェルディナンド・マゼランが、世界一周航海の一環として立ち寄った。 4. マルコ・ポーロが、陸路でアジアを訪れた帰路に発見した。

問5 島根県に位置し、戦国時代から江戸時代にかけて大量の銀を産出した日本最大級の銀山で、2007年に世界文化遺産に登録された場所を次の中から選びなさい。（2016年 鳥取公立入試 類似）

1. 石見銀山 2. 生野銀山 3. 別子銅山 4. 佐渡金山

問6 1543年、九州の南側に位置する種子島にポルトガル人が漂着した際、日本に初めて伝えられた武器について述べた文として、正しいものはどれですか。（2017年 神奈川県公立入試 類似）

1. この武器は鉄砲と呼ばれ、その後の戦国時代の戦い方を集団戦へと大きく変化させた。 2. この武器は弓矢と呼ばれ、従来の騎馬武者による一騎打ちをより重視させるようになった。 3. この武器の伝来と同時にフランシスコ・ザビエルによってキリスト教が日本に広められた。 4. この武器は高度な技術が必要だったため国内での製造ができず、終始輸入に頼っていた。

問7 16世紀半ば、フランシスコ・ザビエルらイエズス会の宣教師が日本を含むアジアなど世界各地へ布教に赴いた歴史的な背景として、最も適切なものはどれですか。（2017年 京都公立入試 類似）

1. ヨーロッパで始まった宗教改革に対し、カトリック教会が勢力を立て直そうとしたため 2. マルコ・ポーロが『世界の記述（東方見聞録）』で日本を黄金の国と紹介したため 3. 十字軍の遠征が失敗し、キリスト教徒が住む場所をアジアに求めたため 4. 産業革命によって生産された工業製品を販売する市場を求めたため

問8 室町時代後期から戦国時代にかけて、実力のある者が上位の者を打ち倒す「下剋上」の風潮が広がる中、各地の戦国大名は自らの力で領国を統治する必要性がありました。このように、戦国大名が領国内の家臣や民衆の行動を規制し、支配を維持するために独自に定めた法を何といいますか。（2016年 福岡県公立入試 類似）

1. 分国法 2. 武家諸法度 3. 公事方御定書 4. 御成敗式目

問9 1543年、九州の南方に位置する種子島に漂着した中国船に乗っていた人々によって、日本に初めて鉄砲が伝えられました。このとき、日本に鉄砲を伝えたのはどこの国の人々ですか。（2016年 千葉県公立入試 類似）

1. ポルトガル人 2. スペイン人 3. オランダ人 4. イギリス人

答え合わせ・解説

問1	答え 1 カトリック — イエズ会	日本に最初に伝わったキリスト教は、ローマ教皇を中心とするカトリック教会の一派である「イエズス会」によるものでした。当時、ヨーロッパでは宗教改革によって新教（プロテスタント）が勢力を伸ばしており、これに危機感を抱いた旧教（カトリック）側のイエズス会が、アジアなどへの布教を通じて信者を増やそうとしていました。
問2	答え 1 大名が自分の領国内にのみ適用した独自の法律であり、地域の実情に応じた内容であった。	分国法は、駿河国の「今川仮名目録」や甲斐国の「甲州法度之次第」のように、各戦国大名がそれぞれの領国の維持・発展のために独自に定めた法典です。幕府による全国一律の支配が及ばなくなった時代において、各大名が家臣の統制や年貢の確保、領民の管理などを目的として作成しました。他の選択肢にある大宝律令や御成敗式目、刀狩令とは時代や制定主体が異なります。
問3	答え 1 イエズス会 — フランシスコ・ザビエル	16世紀のヨーロッパでは宗教改革が起こり、それに対抗する形でカトリック側は自己改革と海外布教を推進した。その中心的な組織がイエズス会であり、創立メンバーの一人であるフランシスコ・ザビエルが日本にキリスト教を伝えた。ルイス・フロイスは織田信長と交流し『日本史』を記した人物であり、ヴァリニャーノは天正遣欧少年使節の派遣を指導した宣教師であるため区別が必要である。
問4	答え 1 バスコ・ダ・ガマが、香辛料などの交易を目的として到達した。	大航海時代において、ポルトガルはイスラム勢力が支配する陸路を避け、直接アジアの香辛料を手に入れるために海路の開発を進めました。1498年、バスコ・ダ・ガマがアフリカ南端の喜望峰を越えてインドのカリカットに到達したことで、アジアとの直接的な海上交易ルートが確立されました。これにより、ヨーロッパの経済・社会に大きな変化がもたらされました。
問5	答え 1 石見銀山	島根県大田市に位置するこの遺跡は、16世紀に博多の豪商らによって本格的な開発が始まり、江戸時代には幕府の直轄地（天領）として重要な財源となりました。良質な銀を大量に産出したことから、東アジアやヨーロッパとの交易において極めて重要な役割を果たしたことが評価され、世界文化遺産に登録されています。
問6	答え 1 この武器は鉄砲と呼ばれ、その後の戦国時代の戦い方を集団戦へと大きく変化させた。	1543年に種子島へ伝来した鉄砲は、それまでの武士個人による一騎打ちから、足軽の集団が鉄砲を一齐に射撃する戦術へと戦い方を一変させました。鉄砲はその後、堺（大阪府）や国友（滋賀県）などで国産化が進み、全国の戦国大名へと普及しました。なお、キリスト教の伝来は1549年であり、鉄砲の伝来とは時期や経緯が異なります。
問7	答え 1 ヨーロッパで始まった宗教改革に対し、カトリック教会が勢力を立て直そうとしたため	ルターやカルバンによる宗教改革によって、ヨーロッパ内でのカトリック教会の権威が揺らぎました。これに対抗するため、カトリック側は自己改革を行うとともに、イエズス会などの組織を通じて世界各地にキリスト教を広め、教勢を回復しようとする「対抗宗教改革」の動きを強めました。ザビエルの来日もこの一環として位置づけられます。
問8	答え 1 分国法	戦国時代には幕府の権威が衰え、全国一律の法が機能しなくなりました。そのため、各地の戦国大名は自分の領地（分国）を治めるために独自のルールを制定しました。今川仮名目録や、武田氏の甲州法度次第などが有名です。江戸時代に幕府が大名を統制するために出した武家諸法度とは、制定の主体や目的が異なります。
問9	答え 1 ポルトガル人	16世紀半ば、東アジアに進出していたポルトガル人が、種子島に漂着した中国船に乗っていたことから、日本に初めて鉄砲がもたらされました。当時の種子島島主であった種子島時堯（ときたか）がこれを買取り、国産化を命じたことで、日本国内での製造と普及が始まりました。